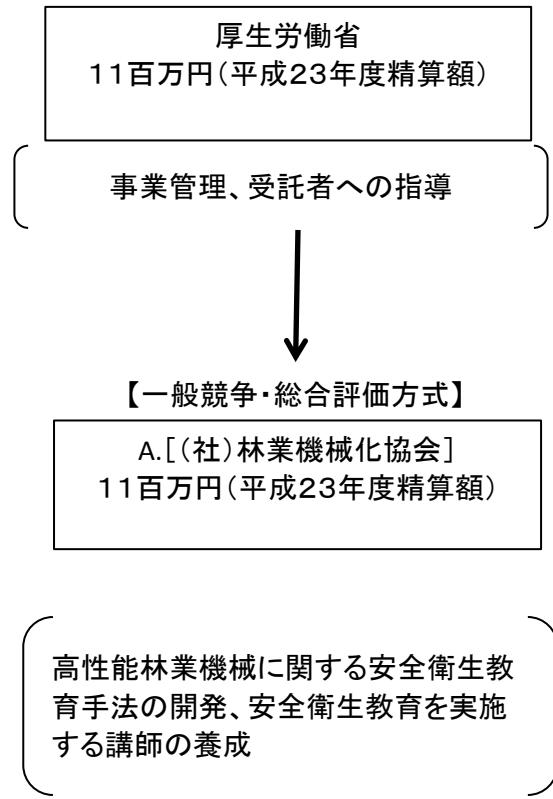


平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	高性能林業機械運転業務従事者に対する安全衛生教育手法開発事業		担当部局庁	労働基準局安全衛生部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度開始・平成23年度終了		担当課室	安全課		田中 正晴		
会計区分	労働保険特別会計 労災勘定		施策名	II-2-2 安全・安心な職場づくりを推進すること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	労働者災害補償保険法第29条第1項第3号 労働安全衛生法第106条第1項		関係する計画、通知等	新成長戦略:「2020年までに労働災害を3割削減」 第11次労働災害防止計画				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	「高性能林業機械」の林業の作業現場への導入が進む中、林業作業に不慣れな労働者が運転業務に従事する機会が増加が予想されるため、「高性能林業機械」の教育手法を開発し、運転業務に従事する者への教育の普及・徹底を図ることにより労働災害の増加を未然に防止する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	上記事業目的を達成するため、①教育カリキュラム、教育教材の見直しを含む安全衛生教育手法の開発(教育の実施及び安全性の検証)、②安全衛生教育を実施する講師の養成等を実施する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	/	/	12	/	/	/
		補正予算	/	/		/	/	/
		繰越し等	/	/		/	/	/
		計	/	/	12	/	/	/
	執行額	/	/	11	/	/	/	
	執行率(%)	/	/	91.7%	/	/	/	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		/	単位	21年度	22年度	23年度	目標値(24年度)
	開発された教育プログラムを、高性能林業機械運転業務従事者への教育に係る試行実施の結果、「有益であった」とする回答の割合を80%以上とする。	成果実績	%	-	-	96.4	-	
		達成度	%	-	-	121	/	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		/	単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	高性能林業機械に係る講師養成研修を40名以上に対して実施する。	活動実績 (当初見込み)	名	-	-	175	-	
				(-)	(-)	(40)	(-)	
単位当たりコスト	62,499(円/名)		算出根拠	10,937,238円(平成23年度支出額)÷175名(平成23年度アウトプット実績)				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	/	/	/					
	/	/	/					
	/	/	/					
	/	/	/					
	/	/	/					
	計	/	/					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	高性能林業機械の林業の作業現場への導入が急速に進んでいる中、高性能林業機械の教育手法を開発する優先度は高い。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	労働安全衛生法第106条第1項に、労働災害防止に資するため、事業者が行う活動について技術上の助言その他必要な援助を行うことが努力義務とされており、本事業は国が実施すべき事業である。
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	-
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	一般競争入札(総合評価方式)による調達により競争性を確保している。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	講師を養成する費用として妥当である。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	本事業は、労働災害の防止のため、事業者に対して支援を行うものであり、事業者から徴収した労災保険料から経費を支出していることから、受益者との負担関係は妥当である。
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	本事業の遂行に要した技術者、講師等に対する給与、謝金、旅費、機械リース料等に使用されている。
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	高性能林業機械の教育手法の開発及び講師の要請に関して知識経験を有する団体へ委託して行うものであり、成果実績も目標を上回っていることから、実効性は高い。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	開発された教育の内容を客観的に評価するため、開発された教育の試行実施を受講した者の有益度を成果目標としており、また、達成度も121%と高い。
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	活動実績は、当初見込みを大幅に上回っている。
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	-
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	開発された教育の試行実施を受講した者の96.4%が有益だったと回答しており、本事業の成果は十分である。また、開発された教育手法については、今後、労働安全衛生法令に基づく特別教育に位置付ける予定であり、養成された講師も十分に活用される予定である。
点検結果	「高性能林業機械」の安全衛生教育手法の開発、安全衛生教育を実施する講師の養成等を実施する事業については、所期の目標を達成したことから、平成23年度で事業を終了する。また、開発された教育手法については、今後、労働安全衛生法令に基づく特別教育に位置付ける予定であり、養成された講師も十分に活用される予定である。		
予算監視・効率化チームの所見			
			-
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
			-
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
			-
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	新23-048

※平成23年度実績を記入



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

(社)林業機械化協会			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
管理費	技術者給与、賃金、電話等使用料	5			
諸謝金	委員謝金、講師謝金、原稿執筆謝金等	2			
旅費	委員旅費、調査旅費、試行実施旅費	2			
需要費	機械リース料、印刷製本費、会場使用料等	2			
計		11	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(社)林業機械化協会	事業概要の記載のとおり	11	1	91.7
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					